

第3回宗像市地域公共交通会議会議録

日 時	平成26年11月20日(木) 10時00分～11時30分
場 所	市役所本館304会議室
出席者	【委員】永尾英信、中川原達也(嘉村代理)、大枝良直、福澤好展、森 正彦、児嶋二三生、今川泰志、原口 貢、前田 誠、宮菌寛治、早川正史、貫 一字、原田勝子、平田恵美、峯 久子 【事務局】大隈課長、田中係長 小島
報告書	アンケート結果について
協議事項	1) コミュニティバス路線等の見直しについて 2) ふれあいバス時刻の見直しについて 3) 無料乗車キャンペーンについて
その他	今後のスケジュール等について

1 会長あいさつ

この会議は交通弱者の生活支援の一環として、ご議論いただいております。いくつか協議事項がございますので、最後までよろしくをお願いします。

2 前回会議録確認

意見なし。

3 報告事項

1) アンケート結果

「アンケート調査結果報告書」のとおり。

(永尾会長)

質問、感想等があれば、お願いしたい。

(森委員)

今回のアンケート結果を、乗務員教育に役立たせたい。運行している各運行事業者に、アンケート結果報告書のフィードバックをお願いできないか。

(事務局)

提供する。

(平田委員)

アンケート調査期間中に乗車した。運転手から「コミュニティバスについては、自分でアンケ

ート用紙に記入する必要がある、記入後に乗車するか分からないため、調査方法を検討した方が良いのではないか」という意見や「平成25年度のアンケート調査での意見が反映されていないので、今回は回答しない」という意見があったと聞いた。利用者の要望に添えるようなアンケート調査をしなければ、徐々にアンケート回収率が下がるのではないかと。

(永尾会長)

利用者の個人的な意見もあるため、すべてを反映できる訳ではないが、アンケート結果を車内掲示する等を考えていきたい。

(嘉村代理)

多数の自治体でアンケート調査を行っている。宗像市のアンケート結果のように、女性の利用者が8割、買い物の利用者が6割等、概ね他自治体と似た結果になっているが、宗像市の場合、行き帰りの利用が多いことが特徴的で良い点である。ふれあいバスで6割、コミュニティバスで7割を超えている。目的に合わせて時刻を組んであるので、行き帰りの利用が多いのではないかとと思われる。その結果、満足度に繋がっていると思う。

アンケート結果をバスの運行に利用するために調査しているため、地域交通の基本コンテンツ(路線・時刻・乗降施設・車両)を上手く組み合わせていただきたい。

(原口委員)

コミュニティバスとふれあいバスの乗り継ぎは、どのように検討しているのか。

(事務局)

大幅な改正の際に、まずはふれあいバスの時刻を決定し、コミュニティバスを運行しているコミュニティ運営協議会に提示し、コミュニティバスの時刻をそれに合わせて検討していただいた。コミュニティバスの方が融通の利く可能性が高く、また、ふれあいバスの方が利用者が多いため、コミュニティ運営協議会に合わせていただく形をとった。そのため、待ち時間は少ないと考えている。

(原口委員)

第1、3、5日曜日に運行して欲しいという意見があるが、実際に運行していないのか。年末年始の運行はどうなっているのか。

(事務局)

病院が閉まるのは12月31日から1月3日までが多いため、そこは運休としている。

4 協議事項

1) コミュニティバス路線等の見直しについて (事務局)

河東地区コミュニティバスの路線、時刻について前回承認をいただいたが、内容に誤りがあったので、再度、承認をいただきたい。

路線については、記載が漏れていたバス停があったため、追加で表示している。時刻については、誤りがあったため、修正を加えている。乗り継ぎには問題ないとする。

池野地区コミュニティバスについては、「名見バス停」の移設と「くりえいと3丁目バス停」を新設する。「名見バス停」については、道路の拡幅工事が終了したため、現在のバス停を名見公民館に近付ける。ただし、名見公民館前の道路は幅員が狭いため、バスを待つ方の安全性を考え、名見公民館から少し離れた幅員の広い箇所への設置を考えている。「くりえいと3丁目バス停」については、マックスバリュやサンキ等の商業施設を利用したいとの要望により、設置したいと考えている。

時刻については、路線は伸びるが、全体の時刻を変更せずに運行可能と運行事業者から確認しているため、全体の時刻は変更しない。現在の時刻は、上大王寺からくりえいと2丁目までの所要時間が7分となっているが、上大王寺からくりえいと3丁目までの所要時間を6分とし、くりえいと3丁目からくりえいと2丁目までの所要時間を1分とし、上大王寺からくりえいと2丁目までの所要時間は7分で変更しない。

前回の会議の際に吉武地区も変更があると伝えていた。城南ヶ丘を運行する便数を増やしたいと要望があったが、遠回りする路線となり、現状の便数のままでは運行できないため、今回は改正しないということで吉武地区コミュニティ運営協議会から回答をいただいている。

(峯委員)

今朝、吉武地区コミュニティバスの運転手さんとお話をしたが、「城南ヶ丘に向かう路線を増やすと時間が足りないと言っていた。ミスターマックスに入らなければ、運行可能かもしれないが、ミスターマックスの利用者が居る以上、廃止にはできない。便数を減らせば運行可能である」と言っていた。

(永尾会長)

補足ありがとうございます。来年4月の改正には、見直しが間に合わないということなので、平成29年4月の改正に向けて、調査、研究なさって検討いただきたいと思う。

河東地区、池野地区コミュニティバスについて、補足はあるか。

(平田委員)

なし。

(早川委員)

前回お話ししたように運行管理委員会に運転手さんに出席いただき、現在の運行に特に支障はないということで、地元と利用者の要望を挙げている。

(永尾会長)

承認ということでよろしいか。

(全員)

良い。

2) ふれあいバス時刻の見直しについて

(事務局)

前回の会議で西鉄バスからふれあいバスの運行の間の休憩時間を十分に取ることができないというお話をいただき、西鉄バスと協議し、案を作成した。現在、ふれあいバス3台を4名の運転手が運行している。第2系統の1、2便の間と第3系統の4、5便で交通事情により少しでも遅れた場合に30分の休憩が取ることができない。

第2系統の1、2便の間の休憩時間については、1便の運行開始時刻を5分早め、35分の休憩時間を設けることによって、多少、運行が遅れても30分の休憩は確保可能となる。

第3系統の4、5便の間の休憩時間については、改正案を2つ提示する。

両案ともに1、2便の間で35分の休憩時間を確保するため、現行の1便の運行開始時刻を5分早める。4、5便で運行間隔を35分確保するため、4便の運行開始時刻を5分早め、5便の運行開始時刻を10分遅くする。

改正案1については、これに加えて3便を5分早めるもの。資料の「宗像ユリックス」「メイトム宗像」に色付けしているが、昨年度の乗降車数を見ると3～5便の利用者は多いため、現行の発着時刻に大きな変更せずに運行するためには、3便を5分早めた方が良いと考える。4、5便についても現行の時刻から大きな変更をせずに運行できるようになっている。

ただし、池野、田島、神湊地区コミュニティバスの接続に影響がある。

池野地区で見ると5便のサンリブ到着時刻が11時57分、ふれあいバス3便の出発時刻が12時00分であったため、乗り継ぎの時間が3分あったが、改正案1にするとふれあいバス3便の発車時刻が11時55分であるため、乗り継ぎが不可能となる。

田島地区、神湊地区で見ると田島地区4便のサンリブ到着時刻が11時49分、神湊地区4便のサンリブ到着時刻が11時52分となっているため、現行よりも乗り継ぎの時間が短くなるが、ふれあいバス3便の発車時刻まで少し余裕があるため、支障はないと考える。

市としては、利用者の多い「宗像ユリックス」「メイトム宗像」の発着時間の大きく変更するよりも、現行に近い時間での運行をした方が良いと考え、改正案1としたいが、乗り継ぎの関係があるため、ご審議いただき、どちらかの案で承認をいただきたいと思います。

(永尾会長)

質問はあるか。

(早川委員)

池野コミュニティバスの利用者で、サンリブでふれあいバスに乗り継ぎ、宗像ユリックス、メイトム宗像に向かっている利用者はどれくらい居るのか。

(事務局)

把握していないが、アンケート結果を見ると買い物を目的とする利用者が多いため、コミュニティバスから乗り継いで宗像ユリックス、メイトム宗像に向かう方よりも、宗像ユリックス、メイトム宗像での乗降者の時間が変わらない方が良いのではないかと考え、改正案1でいきたいと考える。

(原田委員)

池野コミュニティバスから乗り継いで宗像ユリックスやメイトム宗像へ向かう利用者が居るか居ないか分からないとのことだが、まったく利用できない状況を作るよりも乗り継いで行ける手段を残しておいた方が良いと思う。玄海地区の方から、宗像ユリックス、メイトム宗像を利用できないという意見をよく聞く。車がないと利用できない施設があるということは良くないので、できれば、乗り継いで行ける手段を残してもらいたい。

(永尾会長)

改正案2の場合だと、宗像ユリックス、メイトム宗像の到着時刻が変わってくるが、利用や講座への影響はあるのか。再度、改正案2の宗像ユリックス、メイトム宗像への到着時刻についての説明をお願いしたい。

(事務局)

改正案2は、ふれあいバス3便の出発時刻を12時00分とするため、宗像ユリックスへの到着時刻が12時55分となる。現行の到着時刻が12時51分であり、講座の開始時間は13時が多いと聞いているので、現行と比べて開始時間直前の到着となる。

(永尾会長)

現行の到着時刻は12時51分、改正案2の到着時刻は12時55分と、あまり影響がないのではないかとと思われる。他に問題はないか。

(事務局)

4、5便については、現行と大きく変更はなく、乗り継ぎに関しても影響があるものはない。

(原口委員)

1便を5分早くすることのだが、朝早く宗像ユリックスやメイトム宗像を利用される方は多いのか。

(事務局)

1便については、利用者は少ない。

(原口委員)

宗像ユリックス、メイトム宗像の周辺は住宅も少なく、利用者が少ないのであれば、1便は通過することで5分短くなるのではないか。

(事務局)

利用者が全く居ない訳ではないため、通過することは難しい。

(貫委員)

1便を早めるのは、休憩の関係か。

(事務局)

休憩の関係での調整ある。

(今川委員)

どちらのデメリットが大きいかという判断になると思うが、利用者からすると全く乗り継ぎができないことはデメリットが大きい。宗像ユリックスの講座の開始時刻は13時が多いが、絶対にその時間に間に合わなければならないものか。

また、ふれあいバス、コミュニティバスの時刻、路線の改正毎に便利になってきているが、時刻が変わることに抵抗を感じる方が多いようなので、改正案2の方が良いのではないだろうか。

(平田委員)

宗像ユリックスの講座は、13時に開始するものが多いが、13時を過ぎても受け付けに間に合わないだけであるため、バスが遅れたという理由を告げれば問題ないと思う。乗り継ぎができないことが一番問題であると思うので、改正案2が良い。

(永尾会長)

改正案2の意見が多いが、他に問題はないか。

(事務局)

改正案2の第2系統を見ると、池野コミュニティバス5便が、ふれあいバス第3系統3便への

乗り継ぎが難しくなるが、ふれあいバスの第2系統3便が12時に出発し、宗像ユリックスへの到着が改正案2よりも3分早く到着するため、池野コミュニティバス5便に乗車した方も改正案1の第2系統3便に乗れば、宗像ユリックスに行くことができる。

(永尾会長)

ふれあいバス第2、3系統は、1つの路線を右回り、左回りしている。第2系統であれば、現行と変わらない。現在は、第2、第3系統3便が12時であったが、第3系統3便が使えないようになるだけで、宗像ユリックスには行けるため、問題ないのではないか。

その他、乗り継ぎについての問題はないか。

(事務局)

問題はない。

(永尾会長)

第2系統を使えば問題ないため、改正案1で承認いただきたい。

(委員)

承認する。

3) 無料乗車キャンペーンについて

(事務局)

昨年同様、一日無料乗車キャンペーンを行う。乗車数の少ない1月に実施したい。多くの方に乗っていただき、日曜日であれば家族でも利用しやすいため、平成27年1月25日(日)で実施したい。承認後にチラシの配布等の広報を行う。

(永尾会長)

質問、意見はあるか。

(委員)

なし。

(永尾会長)

アンケート調査の「キャンペーンについて知っていたか」という項目で、21%知っていた、46%知らなかったとなっている。周知が大切になると思うが、今回工夫する点があるか。

(事務局)

広報掲載とチラシの全戸配布を考えている。

(永尾会長)

各コミュニティでの周知を図ることはできないか。

(前田委員)

各コミュニティから広報紙を出しているが、時間的に厳しくないだろうか。

12月、1月号は枠が取られていると思う。コミュニティの広報紙は、割と目を通されているため効果的ではあるが、スケジュール的に赤間地区では難しい。

(今川委員)

市とコミュニティのホームページに掲載すれば良いのではないだろうか。

(宮菌委員)

自由ヶ丘地区のコミュニティの広報紙へは掲載可能。

(平田委員)

河東のコミュニティの広報紙には15日号がない。早めにコミュニティに連絡すれば、掲載できると思う。

(永尾会長)

可能な地区と不可能な地区があるようだが、掲載記事はすぐ作成できるか。

(事務局)

掲載記事を作成して、各地区コミュニティにデータを送付し、掲載可能な地区のみ掲載していただきたい。

(永尾会長)

事務局で掲載記事を至急作成し、データを送付する。コミュニティ広報紙に掲載可能な場合は、掲載していただきたい。

4 その他

(事務局)

今後、運賃の見直しをしなければならない。今年度は変更しないが、今後、見直しするにあたって、参考に資料を配布する。ふれあいバス、コミュニティバスの過去2年間と平成26年度上半期の経費、運賃収入、赤字補填のデータを提示しておく。

次回開催日 平成27年3月予定。日程は改めて調整する。